

カントリーロード

緑のふるさと協力隊員

神東美希の奮闘記

1

本町の皆さん、初めまして。18期緑のふるさと協力隊の神東美希です。はるばる四国は愛媛県からやって来ました。

4月に着任後、農林業センター、瀬沢茶工場、イベントでのお手伝いなどの活動をしてきました。

とにかくお茶にまみれたこの2カ月。茶畑をまともに見るのも初めてですが、茶摘み、加工、品評

会など、さまざまな形でお茶に関わる機会に恵まれました。そのたびに、皆さんの熱い「川根茶魂」を目の当たりにしています。

本町の印象は「思っていたより田舎じゃなかったな」というのが正直なところ。買い物する所が少なかったり、車がないと不便だったりしますが、それも住めば都

です。お茶とミカンという違いは

ありますが、静岡と愛媛は似ているかもしれません。気候も人も穏やかですね。本町は山と川がとても身近で、景色を見ているだけで心が落ち着きます。ただ、私は瀬戸内育ちなので、海が恋しいこの頃です。

「なぜ協力隊として本町にやって来たのか」。よく聞かれる質問ですが、いつも返事に困ります。「農業や田舎暮らしに憧れていたわけでもなく、ただ新しい環境で自立した生活をしてみたかった」。

そう言ってしまうと聞こえが悪いかもしれませんが、書けば長くなるので、詳しくはまた別の機会に話したいと思います。

経歴を書くときがバレルので詳しくは書きませんが、今まで雑誌の記者をやったり、韓国に住んだり、国内外を旅したり、わりといろんなことをやってきました。

昨年の今頃は、地元愛媛で国際交流関係の仕事をしていました。そんな私が何の縁か、川根本町に辿り着きました。「人生って本当に不思議で面白いもんだな」と実感しています。

A Country Road

本町の隊員としては5代目の私ですが、2カ月たつてようやく、やりたいことがうつつすら見えてきたような気がしています。

協力隊の先輩4人が作り上げてきた土台を大切にしつつも、今までの経験を活かし、私らしきを出しています。せっかく「カントリーロード」というすてきなタイトルも付けていただいたことですし、この紙面を通して協力隊の活動を広く知ってもらえればうれしいです。どこかでお会いすることがあれば「広報に載ってる子ね」と気軽に声をかけてもらえたら、さらにうれしいです。

この2カ月は本町にあつという間でした。このまま残りの10カ月も足早に過ぎていくのかなと思うと、不安や焦りを感じなくもありません。

できるだけ、この町のいろんなところに向いて、たくさんの人に会って、多くのことを感じ、活動につなげていきたいと思っています。皆さん、どうぞよろしくお願ひします。



神東美希（かんとみき） 愛媛県伊予市出身 緑のふるさと協力隊員第18期生
緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが推進する事業。
農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣。隊員として、農業や観光施設などで協力活動をする。美希さんは、本町5代目の隊員。



ブログ「徒然かつこin川根本町」執筆中！ <http://katsuko-topparohey.seesaa.net/>

